

まが玉づくり



1 ねらい

まが玉づくりは、直方体の滑石を紙やすりで削りながら、まが玉を作り出すものである。オリジナルのまが玉をつくり、古代の人々の生活を知るとともに、互いの作品の良さを認め合う。

- 2 所要時間** 1.25 時間程度（まが玉制作のみ）
 2.5 時間程度（まが玉の歴史や香川県の遺跡についての講話を含む）

- 3 活動場所** 大研修室、研修室

- 4 活動人数** 最大人数：20 班 140 人

5 参加者の服装および準備物

- ・ 汚れてもよい服装
- ・ 新聞紙 1 グループに 1 日分（机や床が汚れないように敷きます。）、雑巾 1 人 1 枚、割りばし（2 人に 1 膳）、濡れたぞうきんを入れるビニール袋、名前ペン

6 活動の流れ

（1）まが玉についての説明

（2）作り方

グループ 4～7 人で囲んで活動ができるように、テーブルを各班 2 つずつ向かい合わせの状態を用意する。

新聞紙を、机の上と机の下に敷く。

- ① テーブルに道具をセットする。（まが玉セット、バット、水入れ、雑巾（人数分））

（2.5 時間の場合、まが玉の歴史や香川県の遺跡についても講話を聞く。）

- ② 滑石にペンで形を写す。

- ③ 紙やすり A（目が粗い）を使用し、ペンで書き写した形になるように、角を取り丸みが出るように削る。

※くぼみの部分は、割りばしに紙やすりを巻き付けて磨く。

- ④ 紙やすり B（中目）を使用し、形を整えていく。

- ⑤ 紙やすり C（耐水ペーパー）を使用し、水入れの水で濡らしながら表面の傷を取る。

- ⑥ 布を使って磨き、表面にツヤを出す。

- ⑦ ひもを通す。

- ⑧ 片付け